
日本機械輸出組合調べ

2月の機械輸出額、9.3%増加

Edited By LogisticsToday On 2017/04/25

日本機械輸出組合（JMC）が24日発表した、2月の機械貿易動向によると、機械輸出額は4兆806億円で前年同月と比べて9.3%増加した。

JMCは、「その他地域向けを除き、5地域向けがプラスとなったこと、自動車をはじめ、主要な21輸出業種のうち16業種がプラスとなったことなどによる」と分析。為替・営業日要因が4.4%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は4.9%増となった。

機械輸入額は1兆7108億円で4%減、3か月ぶりにマイナスだった。

輸出額の地域別では、北米向けが1.5%増、中国向け（30.8%増）、ASEAN・南アジア向け（6.4%増）、EU向け（2.6%増）、韓国・台湾向け（30.5%増）、「その他地域」向け（4.2%減）——と3地域で減少。

業種別では機械輸出額の21業種中16業種がプラスとなり、このうち9業種が二桁増となった。全体の35%を占める自動車（5.8%増）がプラスとなったほか産業機械（24.8%増）、産業機械（66%増）、電子デバイス（16.8%増）、軽電気機械（22.3%増）が二桁増だった。

JMCでは3月の輸出について「為替・営業日要因は0.1%の増加寄与要因となる」としているが、4月20日発表の貿易統計によると、機械輸出は9.8%増加だった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/286468>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.